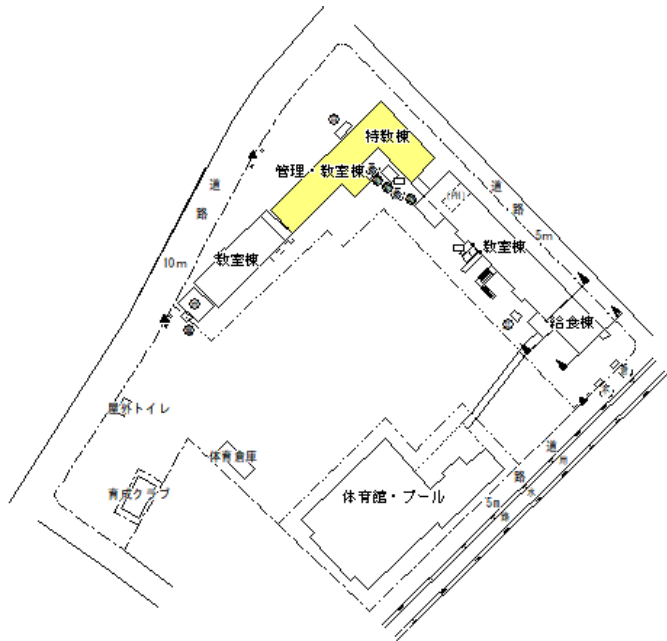


# 白川小学校校舎改築について（熊本市教育委員会提供の説明資料）

本市は「熊本市学校施設長寿命化計画」に基づき、築年数の古い建物や必要面積が相当不足している建物から順次改築を検討しているところです。

白川小学校の管理・教室棟は築年数が古いため令和元年度（2019年度）に耐力度調査を実施したところ、下記に示す通り建物の老朽化が確認されました。これら結果等をふまえ、校舎の改築が必要と判断しました。そこで、令和2年度、校舎改築に向けた設計委託を予算化して行うこととしました。



## 建物概要

建物名称：白川小学校1-0棟（管理・教室棟）  
建築年月日：昭和11年（1936年）3月（築年数84年）  
階数：3階  
構造：鉄筋コンクリート（RC）造  
延べ床面積：1,765.0㎡

## 耐力度調査とは

- 公立学校施設における建物の構造耐力、経年による耐力・機能の低下、立地条件による影響の3点の項目を総合的に調査し、建物の老朽化を総合的に評価するもの
- 調査の結果、所要の耐力度点数に達しないもの※については、老朽化した公立学校施設を建て替える事業の対象となる

※RC造の場合はおおむね4500点以下になった建物

	①構造耐力	②健全度	③立地条件	耐力度 (①×②×③)
1-0棟 (管理・教室棟)	94 (最大100点)	43 (最大100点)	0.95 (0.82~1.0)	3840点 (最大10000点)

経過年数及び鉄筋腐食度、コンクリートの中酸化、鉄筋のかぶり厚さ、躯体の状態の調査結果が健全度の減点となっている。

## 今後のスケジュール ※本スケジュールはあくまで予定。

まずは、令和2年（2020年）7月ごろに設計業者が決定し、改築プランの検討を開始する。

2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
設計				
	仮設校舎建築			
		現校舎解体		
			新校舎建築	
				新校舎供用開始